

〔源氏物語〕夕顔四いとよなきよりなづきひしもの、い。ま。は。の。き。ざ。み。に。つ。ら。し。と。や。思。は。ん。と。思。給。へ。て。ま。か。り。し。に。○下略

〔言成卿記〕天保十四年五月九日、祖母藤向殿違例之處、午一點及危篤血。死。期。也、動哭了、

〔倭訓栞〕中編十四ちしご 知死期なり、後漢謝夷吾傳に見えたり、産家などに知死期時などい

ふは、忘はしき事なり、

〔類聚名物考〕凶事一死期

あらかじめいつの何時には死せんとすと、わきまへしるをいふなりとぞ、是を知死期などいへり、

〔類聚名物考〕凶事一斷抹磨 だんまつま 斷末磨

死期の若痛の甚しきをいふに、斷抹磨のくるしみと云ふ、智度論には、刀風解形、死苦來逼といひ、道綽禪師は、刀風一至、百苦襲身ともいへり、刀風は劔の如き風の來りて、身を切くだくをいへり、皮の切る、を斷と云ふ、肉の裂るを抹といひ、骨の摺碎るを磨といふなり、百千の戈劔にて身を裁裂が如きにたとへたり、一説に斷抹磨は梵語なりといへども未考出、

〔下學集〕下藝獲麟カウクリン呼フ一切事終ニ獲麟ニ亦呼ニ人之臨終ニ

〔塵袋〕十一一人ノシナントスルヲ獲麟ト云フハ何事ゾ、

麟ト云フハ麒麟ナリ、○中略春秋ハ孔子ノシルシタマヘルフミナリ、コノ麟ヲエタルマデノコト

ヲシルシテ、ホドナクウセ給ヒニケリ、孔子御年七十一ニテ、杜預絶筆於獲麟之一句ト云ヘルハコレナリ、コレヨリ最後ニノゾムヲバ獲麟ト云フナリ、獲ハエタリト云フナリ、

〔下學集〕下藝屬麟ソウリン人臨死時、以綿續屬鼻穴、知息之

〔堪囊抄〕五同事○天子ヲ晏駕ト云ハ如何事ゾ○中略